関西女子野球連盟　公式記録員講習会

公式記録員の役割

① 公式記録の報告書（スコアカード）を作成する

② 安打・失策・野手選択などの判定を行う

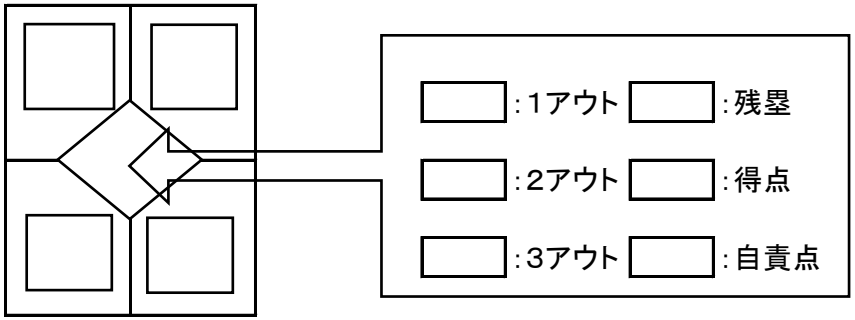
③ ボールカウントの誤り、アウトカウントの誤りなどを審判へ助言する
※ 打順の誤りは誰にも告げてはならない

スコアのつけ方

（1）守備位置の記号

投　手：		捕　手：		一塁手：	
二塁手：		三塁手：		遊撃手：	
左翼手：		中堅手：		右翼手：	

（2）スコアシートの使い方



（3）ボールカウントの記号

見逃しストライク：　　空振りストライク：　　ボール：

ファウル：　　バントファウル：　　バント空振り：

（4）三振の記号

三振：　　振り逃げ：（ワイルドピッチ）　　振り逃げ：（パスボール）

振り逃げ失敗：　　スリーバント失敗：

（5）四死球の記号

四球：　　死球：　　故意死球：（敬遠）

（6）フライ・ライナーの記号

フライ：　　ライナー：

①ショートフライ
②サードファールフライ
③レフトライナー

【参考】
1塁＝□
2塁＝□
3塁＝□
本塁＝□

（7）ゴロの記入例

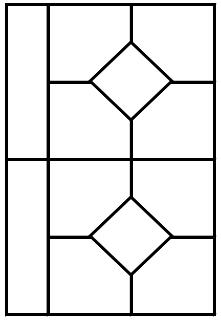
①ショートゴロをファーストに送球アウト
②ファーストゴロを一塁ベースを踏んでアウト
③ファーストゴロでタッグアウト

（8）捕球エラー・送球エラーの記入例

①セカンドゴロでセカンドがファーストへ悪送球
②レフトフライをレフトが落球
③セカンドゴロをセカンドが捕球しどこにも投げられず
④セカンドゴロでセカンドからの送球をファーストが捕球エラー

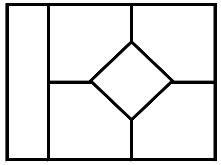
(9)併殺打の記入例

ショートゴロで6－4－3のダブルプレーが成立した

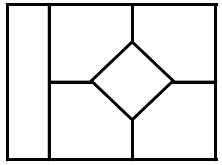


(10)安打の記号

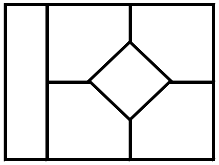
単打



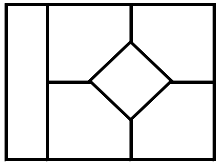
二塁打



三塁打

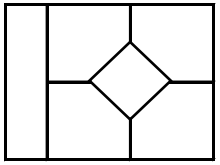


本塁打

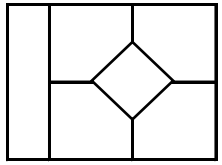


(11)シングルヒットの記入例

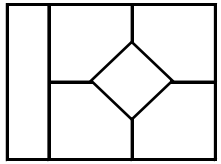
①レフト前



②ショート内野安打

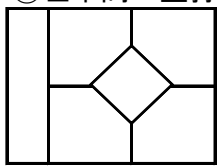


③セカンドへのバントヒット

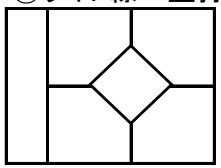


(12)長打の記入例

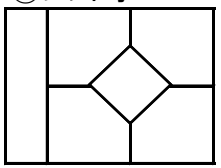
①左中間二塁打



②ライト線三塁打



③レフトオーバー本塁打



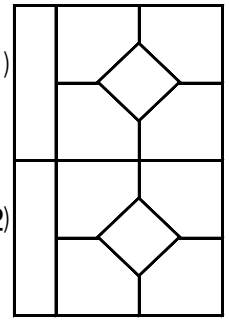
(13)盗塁に関する記号、記入例

盗塁: ☐　重盗: ☐　三重盗: ☐　盗塁死: ☐

①2番打者の1球目に2塁への盗塁(2盗)成功

(1)

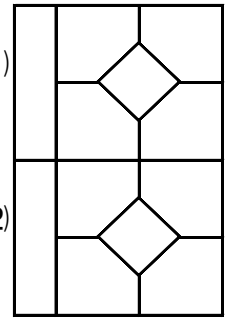
(2)



②2番打者の1球目に2塁への盗塁(2盗)失敗

(1)

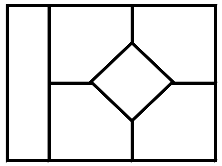
(2)



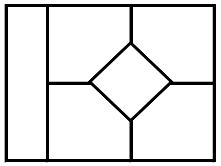
※どの投球の時に盗塁、盗塁死が起こったかわかるよう数字を付けておく

(14)選手交代の記入例

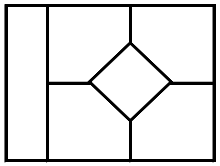
①代打



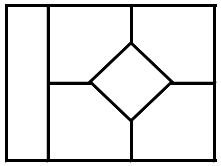
②代走



③守備



④投手



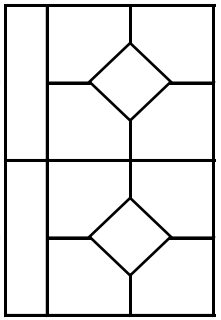
(15)暴投、捕逸、ボークの記入例

① 2番打者の1球目が暴投となり、
1塁走者は2塁に進塁。

※捕逸の場合も書き方は同じ

(1)

(2)

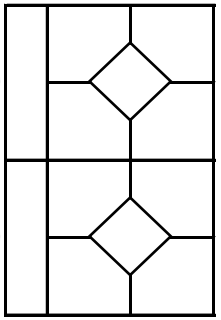


② 2番打者の1球目の投球がボークとなり、
1塁走者は2塁に進塁。

※ 投球していても、ボークが宣告されれば、
ノーカウントとなる。

(1)

(2)



(16)犠打の条件

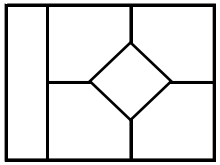
犠打 ＜ 進塁打 ←一般的にこちらを『犠打』という
犠飛

<進塁打(犠牲バント)の条件>
打者のバントで走者を進塁させ打者が1塁でアウトになる。

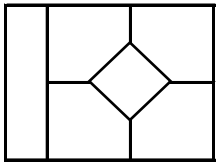
<犠飛の条件>
0アウトまたは1アウトで、
打者が外野に飛球(フライ)またはライナーを打ち、
外野手または外野まで回り込んだ内野手がこれを捕球後、
走者が本塁に達し得点した場合。

(17)バントの記入例

サードへの送りバント成功(犠打)



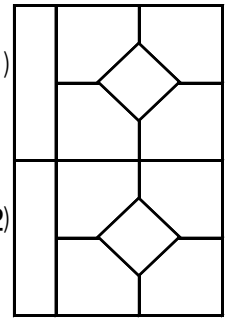
サードへのバント凡打(ゴロ)



(18)犠打＋エラーの記入例
サードへの送りバント成功(犠打)
サードのファーストへの悪送球で
打者走者も1塁セーフ

(1)

(2)

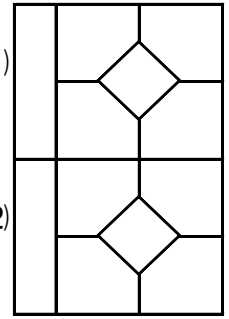


(19)犠打＋野選の記入例
サードへの送りバント成功(犠打)
サードがセカンド送球したが、1塁走者、打者走者
ともにセーフ

野手選択(Fielder's choice)

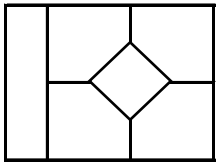
(1)

(2)

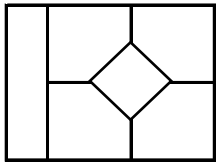


(20)犠飛の記入例

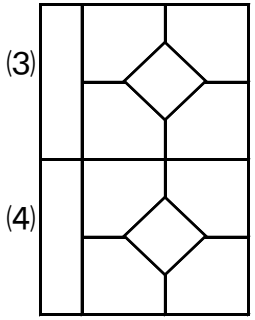
センターフライが犠飛に
なった場合



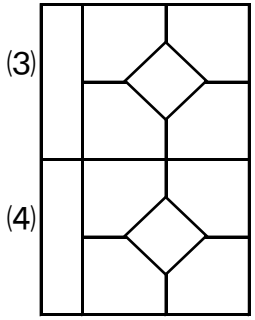
ショートファールフライが犠飛
になった場合



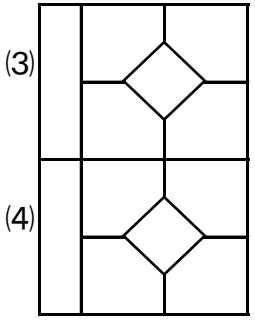
(21)犠飛の考え方
センターフライをセンターが落球
3塁走者落球に関わらず得点。
落球がなくとも得点できたと
記録員が判断した場合は犠飛を記録する。
打者走者が1塁セーフになったのは、
センターのエラーのため。



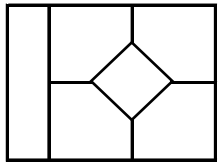
(22)走者の進塁の記号、記入例
4番打者の打撃行為により進塁



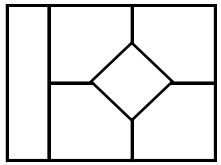
4番打者に打点あり



(23)走塁妨害の記号、記入例
走塁妨害
ボールを持たない野手が走者を妨げたとき
妨害した野手に失策を記録する。

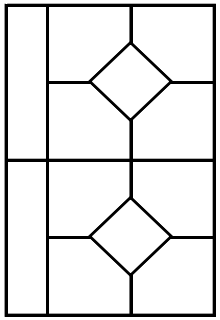


(24)打撃妨害の記号、記入例
打撃妨害
捕手が打者を妨害、捕手に失策を記録。
打者は妨害出塁で打数には含まない



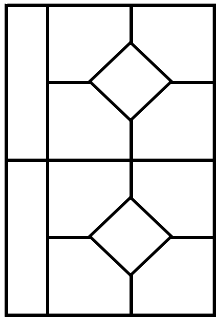
(25)守備妨害の記号、記入例
守備妨害(Interference)
(例)セカンドが妨害を受けた

打球を処理しようとした野手に
走者が接触して守備を妨害



※ 野手に触れていない
フェアの打球が走者に
触れた場合、打者には
安打を記録する。

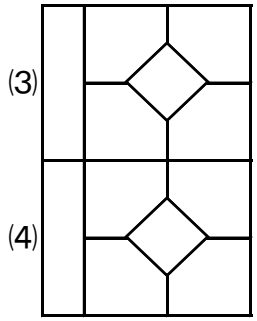
打球に走者が接触して、
野手の守備を妨害



(26)送球中の進塁記入例

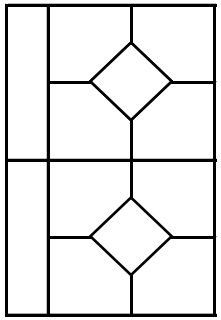
ほかの走者(3番)をアウトにするために
センターからキャッチャーに送球されている間の
進塁。

※ 1つのプレーで2つ以上進塁した場合は、
→でつなぐ。



(27)失策による進塁の記入例
センター前ヒットをセンターがファンブル(お手玉)して、
打者走者(バッターランナー)は2塁へ

セカンドゴロをセカンドがファーストへ悪送球。
それを見て打者走者は2塁へ。



(28)失策の適用例

無死走者なしから3番打者が3塁打で出塁。

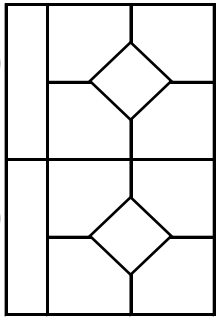
⇩

4番打者が打ったセカンドゴロを、
セカンドがキャッチャーへ悪送球。
3番打者は得点。

※ 失策を3番打者の進塁に適用

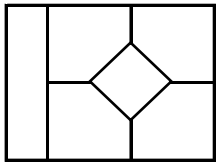
(3)

(4)



(29)タッグアウトの記号、記入例

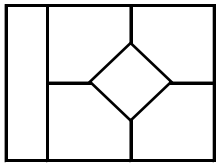
タッグアウト(Tag out)



飛球が捕らえられた後、走者がリタッチを果たす前に
身体あるいはその塁に触球された場合。

(30)アピールアウトの記号、記入例

アピールアウト(Appeal out)



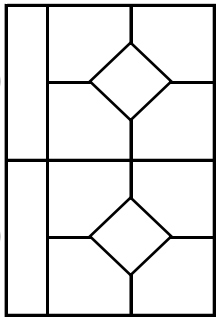
進塁に際し、走者が塁に触れ損ねた(空過し)とき、
塁を踏み直す前に、身体あるいはその塁に触球されたとき。

(31)ランダウン(挟殺)プレー

1塁牽制で飛び出た走者が、
ピッチャー→ファースト→ショート→セカンド
と送球されタッグアウト

(1)

(2)



※ 野手のミスなく走者が元の塁に戻った場合は、
記録的には何もなかったことになる。

※ ランダウンプレー中に野手のミスプレイで走者を生かした
(進塁または帰塁した)場合、その野手に失策を記録する。

※ ランダウンプレー中に野手のミスなく走者が進塁した場合、
フィルダースチョイスによる進塁と記録する。

※ 牽制で追い出された走者が、(ランダウンプレーなしで)守備側のミスなく次塁
に進んだとき、その走者に盗塁を記録する。